

2026年3月17日

慶應義塾大学 理工学部 機械工学科の学生をお招きし、 企業見学会を実施しました

2026年3月4日、慶應義塾大学 理工学部 機械工学科の学生14名に本社へお越しいただき、企業見学会を実施しました。本取り組みは、当社の技術や事業への理解促進と、大学・研究室との連携強化を目的としたものです。当日は、各本部によるデモを交えた技術紹介や質疑応答を行い、学生のみなさまから高い関心を寄せていただきました。

■ 見学会の概要

日時：2026年3月4日（水）

場所：本社（千葉県松戸市高塚新田 563）

参加者：慶應義塾大学 理工学部 機械工学科・関連研究室の学生 計14名

当日は3グループに分かれて事業所内を巡回し、各部署の担当社員が技術や製品について説明を行いました。

■ 当日のプログラム

開会あいさつ

会社説明

事業所見学（生産技術／FA事業／先行開発の3本部）

質疑応答・閉会あいさつ

■ 見学内容のハイライト

各本部では以下のテーマを中心に、実機・デモを交えた紹介を行いました。

生産技術本部：画像検査装置、CAE（シミュレーション解析）

FA事業本部：移載機・組み立て機をはじめとしたFA装置

先行開発本部：超小型・低消費電力 IoT デバイス技術、次世代高精度測位技術、マテリアルズバイインフォマティクス

学生のみなさまからは、装置の動作や研究開発プロセスについて多くの質問を寄せられ、活発なコミュニケーションが行われました。

セイコーフューチャークリエーション株式会社

■ 学生アンケートより

見学会後に実施したアンケートでは、以下の結果が得られました。

事業理解が「とても深まった」：85%、「やや深まった」：15%

説明が「とても分かりやすかった」：85%、「分かりやすかった」：15%

自由記述では、次のような声が寄せられました。

「Raspberry Pi を用いた機械学習のデモが印象的だった」

「サンドイッチ包装など自動化技術の幅広さに驚いた」

「画像解析や位置推定の仕組みがよく理解できた」

「時計のイメージが強かったが、幅広い分野で先進的な研究開発を行っていることを知った」

多くの学生が、当社の事業の多様性や技術の奥深さに新たな発見を感じていただきました。

■ 今後について

今回の見学会を通じ、学生のみなさまから当社技術への関心や、将来的な応募意向が寄せられるなど、有意義な交流の機会となりました。今後も大学・研究室との連携を深め、次世代を担う技術者の育成に貢献してまいります。



以上